



# 入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子！

2018年8月27日

No. 6

TEL 46-2655

FAX 46-2654

学校教育目標：命とふるさとを大切にする子どもの育成

目指す児童像：《一はきはき一 てきぱき一 にこにこ一》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子  
心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやみき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

## ー第2学期のスタートにあたってー

《2学期の始業式～校長講話より～『自分の壁を乗り越えよう！』》

2学期の始業式で子供たちに次のことを話しました。(要点のみ抜粋)

### 「雑草軍団」金足農業、チームの絆で勝ち取った準優勝！

この夏、第100回全国高校野球選手権記念大会において準優勝した金足農業。「大旗の白河越え」は、惜しくも達成できませんでした。しかし、リードされた試合でも、最後まで諦めない粘りを発揮して決勝に進出し、甲子園を沸かせました。



秋田大会初戦から1人でマウンドに立ち続けた吉田投手。甲子園全6試合でも先発し、計881球を投げ抜きました。

試合終了後、吉田投手は、キャッチャーの菊地選手と肩を組んだまま涙が止まらなかったそうです。チームの皆は「吉田がいたからここまで来られた」と感謝したが、吉田投手は「みんなに助けられたから、ここまで全力で投げ切れた」と語ったそうです。これまで、応援・支援して下さった家族、地域、全国の方々への感謝も伝えていました。

### 「当たり前」の学校生活を送ることに感謝～「チーム入谷」の絆を大切に！～

長い2学期、多くの行事があります。様々な行事を経験する中で、自分の思い描くようになることばかりではありません。つらいこと、困難なこと、苦しいこと、自分の前にある壁が大きい時、諦めるのではなく、失敗しても悔しさをバネに、乗り越えてほしいと思います。そして、何より、担任の先生方をはじめ、家族、友達、地域の方々に支えられて有意義な学校生活を送ることができることに感謝し、何事にも、「自己ベスト」を目指し取り組んでください。

諦めずに、壁を乗り越えることが、何かを成し遂げる道です。失敗したり悔しい思いを乗り越えたりしながら、少しずつ自分に自信をつけ、目標に向かって歩んでほしいと願っています。

2学期も「チーム入谷」として、力を合わせ、がんばっていきましょう！

## 《8月の職員会議で教職員に提示したことばです!》



のことば・・・



『世の人は我を何とも言わば言え 我が成す事は我のみぞ知る』  
《坂本 龍馬》

### 【歌の意味】

「世間の人たちが言いたいのであれば、私のこと（悪口やうわさ話）を言いたければ言えればいい。しかし、私のやること、やろうとすることは私だけが知っているのだ。」

何とも自信と情熱、気概の感じられる歌です。10代の年齢でここまできっぱりと言い切るの、なかなか難しいのではないかと思います。さすが、後に「日本の夜明け」を導いた人です。

人は、他人から嫌なことを言われたり、悪い評判を聞いたりすると、つい自信を無くしたり落ち込んだりするものです。しかし、何事をなすのにも、龍馬のように、自信と情熱、気概をもって目標に突き進む姿勢が必要です。正しいことをしているのなら、自信と誠意をもってことをなすことができます。

2学期を迎えるにあたり、子供たちに「志」「目標」をもって物事に取り組むことの大切さを再確認してください。そして、子供たちが、長い2学期の学校生活において、失敗や間違いを恐れず勇気をもって挑戦し、様々な教育活動で「自己ベスト」という目標を達成し、成功をつかみとることを期待したいですね。



### 【参考までに・・・】

土佐藩（現高知県）出身の坂本龍馬。幕末の志をもつ武士、志士と呼ばれる人はたくさんいますが、坂本龍馬もその一人であることは、多くのテレビドラマや映画、小説、漫画等で取り上げられ、その業績について改めて紹介するまでもないと思います。

特に、貿易会社と政治組織を兼ねた亀山社中（後の海援隊）の結成、力をもつ雄藩として影響力のある薩摩藩・西郷隆盛たちと長州藩・木戸孝允たちの同盟の斡旋、江戸幕府の終りとなる大政奉還の成立等、難問に尽力し、倒幕及び明治維新に大きな影響を与えました。

このようにすばらしい活躍をした龍馬ですが、幼少の頃は気弱で泣き虫だったとも言われています。周りの人から冷たい目で見られることもあったそうです。その後、姉の乙女さんに学問を習い、そして14歳で高知城下の剣術道場で剣術の稽古に励み、北辰一刀流の千葉道場入門するため江戸留学の許しを得るほどまでになったとのこと。この剣の腕をあげたことが自信を得たのでしょうか。

標記の歌は、龍馬が16歳のときに詠んだと言われ、姉の乙女さん宛につくられたとされる「詠草集」に収録されています。「詠草集」は、彼が暗殺され、非業の死を遂げた京都にある国立博物館に所蔵されています。

入谷小学校の子供たちが、長い2学期の学校生活において、失敗や間違いを恐れずにたくさんのごことにチャレンジして、「自己ベスト」という目標を達成できるように、全教職員で指導・支援していきます。

ご家庭においても、お子さんが苦手なことへ意欲的にチャレンジするよう大いに語り合い、励ましてください。2学期もよろしく願いいたします。

